



平成29年5月12日

各 位

上場会社名 エプコ
 代表者 代表取締役グループCEO 岩崎 辰之
 (コード番号 2311)
 問合せ先責任者 代表取締役CFO 吉原 信一郎
 (TEL 03-6853-9165)

平成29年12月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年2月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,569	172	171	111	24.96
今回修正予想(B)	1,630	244	242	162	36.41
増減額(B-A)	61	71	71	51	
増減率(%)	3.9	41.5	41.8	45.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年12月期第2四半期)	1,600	△200	118	98	22.17

修正の理由

当第2四半期連結累計期間(平成29年1月1日～平成29年6月30日)の業績予想を修正する理由は、下記のとおりです。

【売上高 計画超過要因】

各セグメントにおける売上高の計画超過要因は下記のとおりであります。

- 設計コンサルティング事業: +27百万円(計画1,085百万円、見込1,112百万円)
【要因】期初計画において設計受託件数(住宅着工)の前提を保守的に見込んでいたため
- カスタマーサポート事業: +8百万円(計画412百万円、見込421百万円)
【要因】インバウンドサービスにおける受電件数が想定を上回る形で推移しているため
- スマートエネルギー事業: +25百万円(計画70百万円、見込96百万円)
【要因】電力サービスに関する受託(システム開発及びコンサルティング)が計画を上回る形で推移しているため

【利益 計画超過要因】

各事業部門の費用項目については概ね計画通りに発生しており、各利益の主たる計画超過要因は、前述の売上計画超過分がそのまま利益の計画超過額に反映されたことによるものであります。

なお、平成29年12月期 通期連結業績予想数値につきましては前回公表した業績予想を据え置いておりますが、スマートエネルギー事業における新規事業の進捗を踏まえて、業績予想の修正が必要になった場合には速やかに開示いたします。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上